新友会

長野市議会 新友会だより

新春号
2024年1月
発刊

ごあいさつ

新友会 会長
小泉 栄正

このたびの能登半島地震で犠牲となられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災されました皆様には心からお見舞いを申し上げます。被災されました皆様の安全を願いますとともに、1日でも早く平穏な生活に戻られますことをお祈り申し上げます。

さて、皆様方には、日頃から新友会に対しまして、格別のご支援を賜りますことに、心から御礼を申し上げます。

我々、新友会の議員一同は、昨年9月の市議会議員選挙において、市民の皆様の負託を受け、17名の議員で新たな任期をスタートしました。

改めて長野市ならびに地域の更なる発展と、市民の皆様の幸せな暮らしを守るために、活動していく決意を新たにしたところでございます。

新型コロナウィルス感染症やインフルエンザの流行は、なかなか収まりませんが、社会経済活動の更なる活性化に向け、長野市では様々な施策に取り組んでおります。新友会も市長と共に直面する市政課題に対して、鋭意活動して参ります。

長野市でも人口減少と少子高齢化は待ったなしで進行しておりますが、行政のデジタル化やペーパーレス化の推進により、より効率的な行政運営を行い、刻々と変化する時代の潮流に適切に対応して参ります。

新友会としましても、市内全域からお願いしております100余名の政策モニターの皆様をはじめ、市民の皆様方のご意見・ご要望にしっかりと耳を傾けながら、その声を市政に反映していけるよう、所属議員が一丸となって全力で取り組んで参りますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

後列左より
西脇かおる　青木　敏明　市川　和彦　松田　光平
若林　　祥　手塚　秀樹　箱山　正一　本木　　晋

前列左より
桜井　　篤　北沢　哲也　西沢　利一　寺沢さゆり
小泉　栄正　宮崎　治夫　金沢　敦志　和田　一成
加藤　英夫

「国への要望活動」を行いました

昨年12月22日、国に本市の重点施策についての要望活動を行いました。

若林健太・務台俊介両衆議院議員にご同行いただき、本市施策案件の実現に向けて要望させていただきました。

また、両代議士との意見交換会では、地方創生・有害鳥獣対策・災害対策等々の貴重な意見が交わされました。

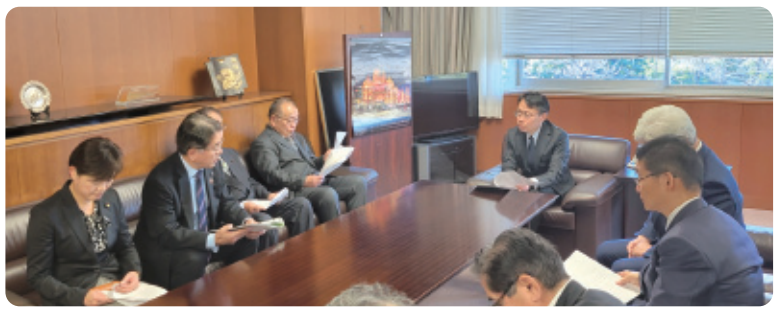
最後に、こども家庭庁の新たな取り組みについて、同庁参事官補佐を招き、長野市のこども施策に反映させるべく、学んでまいりました。

今回の要望内容は、下記のとおりです。

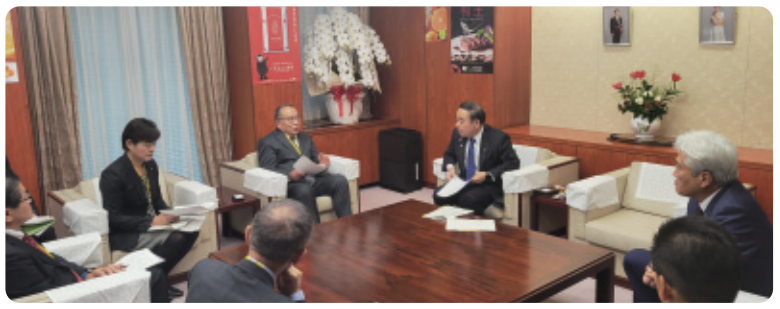
国土交通省
○公共交通機関におけるキャッシュレス化推進に対する支援
○長野駅前B-1地区市街地再開発事業に対する支援
○水道事業に対する支援制度の拡充

農林水産省
○防霜ファン設置への補助要件の緩和と、新たな凍霜害対策に対する支援
○鳥獣被害防止総合対策交付金（捕獲補助金）の増額要望

内　閣　府
○茶臼山動物園再整備に対する支援



▲国土交通省（和田事務次官）への要望活動



▲農林水産省（坂本大臣）への要望活動

令和6年度予算編成に対する予算要望書を提出しました

新友会では、令和6年度の事業計画の策定と予算編成に対し、長野市全体の行政に係わることに加え、各地区の個別の課題を、各部局別に405項目にわたる「令和6年度予算編成に対する要望書」としてとりまとめ、令和5年11月8日、小泉栄正会長から荻原市長へ提出いたしました。

令和6年度の予算要望のおもな内容と、令和5年度予算要望で実現したおもな事項については、裏面をご覧ください。

新友会は、市民の皆さまのご意見をお待ちしております。 ご遠慮なく、右記にご連絡ください。

〈発　行　所〉
長野市議会　新友会　〒380-8512　長野市大字鶴賀緑町1613番地　長野市役所第一庁舎7F
〈発行責任者〉
小泉 栄正　TEL.026-226-4911（内線3931）　FAX.026-229-6386
E-mail:shinyu@mx1.avis.ne.jp　ホームページ:https://shinyukai-nagano.com/

総務部会

後列左より
北沢　哲也　　宮崎　治夫
前列左より
金沢　敦志　　西脇かおる

● 令和6年度予算要望の主な内容

[総務関係]
事務の効率化と行政サービスの向上を目指し、業務プロセスの見直しやペーパーレス化、情報システムの標準化対応や人口減少に伴う職員の減少を見据えたAI等の先進技術の活用、多様な働き方の実現につながるテレワークなどに取り組み、行政デジタルトランスフォーメーション（DX）を着実に推進すること。

[企画政策関係]
地域連携ICカードの移行を着実に進めるとともに、ICカードの普及を図ること。

[財政関係]
予算の編成にあたっては、原油価格･物価高騰などによる市内経済の落ち込みを防ぎつつ、経済基盤の底上げ等に取り組み、公共施設の在り方を含めた事業の「選択と集中」を一層強化し、行政DXの推進など行政のスリム化･効率化を図り、健全財政の維持に努めること。

[地域・市民生活関係]
支所長補佐（地域きらめき隊）は、支所長（地区活動支援担当）とともに住民自治協議会等が行う地域の様々な課題解決の取り組みを支援し、その支援にあたっては、関係部局が十分連携を図ること。

[消防関係]
各種災害発生時の初動体制に万全を期すため、無線通信設備及び高機能消防指令情報システムの適切な維持管理と新システム導入に向けた整備、監理を進めること。

● 令和5年度予算要望で実現した主な事項

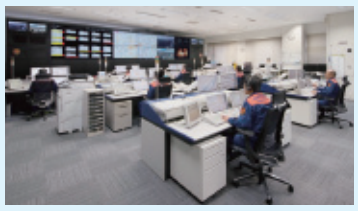
[総務関係]
情報格差対策として、中山間地域を中心に、16地区の公民館等で約1,000人の方を対象としたスマートフォン教室が開催されました。

[企画政策関係]
①本市への移住･定住を一層促進するため、中山間地域の戸建ての空き家を活用した「お試し移住施設」2棟が開設されました。
②JR東日本のSuica機能がついた地域連携ICカードの令和7年春のサービス提供に向け、システム開発が始められました。

[財政関係]
令和5年度一般会計当初予算は、子育て･教育･若者の活躍関連に157億円、地域経済･農業振興関連に88億円、物価高騰･新型コロナウイルス感染症対策に63億円、東日本台風災害からの復興関連に8億円が重点配分されました。

[地域・市民生活関係]
住民の幸せの増進を継続して実現するため、住民と行政との協働によるまちづくりの仕組みを見直す「住民自治リフレッシュプロジェクト」が開始されました。

[消防関係]
NET119緊急通報システムについては、関係部局と連携し聴覚障害者の方への普及が促進されました。



▲通信指令課の様子

経済文教部会

後列左より
市川　和彦　　小泉　栄正
前列左より
松田　光平　　青木　敏明

● 令和6年度予算要望の主な内容

[農林関係]
森林資源の保全のため、近年、増加傾向にある松くい虫被害木の処理拡大を図るとともに、森林環境譲与税及び森林税を有効に活用し、森林資源の利活用のための搬出間伐など森林整備を推進すること。

[商工観光関係]
スタートアップ成長支援と連携を図りながら創業者の育成に努めること。

[新産業推進関係]
先端技術を効果的に活用し、地域課題の解決や新産業の創出を図り、市民が幸せを実感できる持続可能な未来型社会を目指す「スマートシティNAGANO」の取り組みを積極的に推進すること。

[文化スポーツ振興関係]
地域に伝承されている伝統芸能等の保存伝承活動への支援や交流の場の充実を図ること。また、スポーツと他産業の連携による新産業を創出するなど、スポーツの成長産業化を推進すること。

[教育関係]
児童･生徒が望ましい環境での学習ができるよう、小中学校の普通教室へのエアコン整備を令和6年度中に完了すること。また、特別教室へのエアコン整備も計画的に進めること。特に、設置要望が高い理科室については早期に進めること。

● 令和5年度予算要望で実現した主な事項

[農林関係]
ワイナリー施設整備事業補助金を活用した長野市初となるワイナリーが竣工しました。ワイン用ぶどう産地形成事業の対象を市内全域に拡大するとともに、特徴あるワインの醸造のため、「竜眼」について補助率を他の品種より拡大して栽培を促進しています。

▲有旅ワイナリー（施設外観）

[商工観光関係]
DXの前提となるデジタル化に着手していない多くの小規模事業者を支援する補助制度により、キャッシュレス決済やPOSレジ導入による事務の効率化、インボイスや電子帳簿保存法改正への対応が図られました。　※POSレジ（ポスレジ）:売上分析機能をはじめ、顧客管理機能や在庫管理機能を備えているレジスタ

[新産業推進関係]
若い世代の起業家意識を醸成するため、市内高等教育機関と連携して大学生、大学院生及び高等専門学校生を対象に起業家育成教育を行う「高等教育機関スタートアップ創出事業」が新たに開始されました。

[文化スポーツ振興関係]
次世代への伝統芸能の継承を目的に、伝統芸能団体と市が連携･協力し、学校や子どもプラザなどに出向き、子どもたちに演奏や舞いを披露する「伝統芸能訪問公演」が行われました。

▲伝統芸能訪問公演の様子

[教育関係]
教育支援センターSaSaLAND（ササランド）については、旧七二会小学校笹平分校の改修工事と並行して、七二会地区住民自治協議会、信州大学教育学部、不登校親の会等の関係団体が参画する運営協議会が設置され、令和6年4月のオープンに向けた準備が進められました。

福祉環境部会

後列左より
箱山　正一　　桜井　篤
前列左より
手塚　秀樹　　西沢　利一

● 令和6年度予算要望の主な内容

[保健福祉関係]
①災害に備え、避難行動要支援者の個別避難計画の作成を進めるとともに、必要な方が福祉避難所へ直接避難できるよう態勢の構築を図ること。
②健診受診率の向上を図り、保健指導を充実することにより、糖尿病等生活習慣病の発症及び重症化を予防し、健康寿命の延伸に努めること。

[子ども・子育て関係]
①こどもの権利条例について、議会と協力し本市独自の条例の制定に向けて取り組むこと。
②保育所等での使用済みおむつの処分については公立･私立の分け隔てなく、全市で実施するよう取り組むこと。

[環境関係]
①「第三次長野市環境基本計画」に基づき、省エネルギーと再生可能エネルギー施策を推進するとともに、効果的な支援策に取り組むこと。
②電気自動車など次世代自動車や省エネ機器等の普及、啓発に積極的に取り組むこと。

● 令和5年度予算要望で実現した主な事項

[保健福祉関係]
①子どもの福祉医療費の対象範囲が、令和6年1月診療分から18歳年度末まで拡大されました。
②「シン･長野市はつらつ体操」の体験講座のほか、プロスポーツチームとの連携やラッピングバスによるPR等、介護予防の充実が図られました。

▲ラッピングバス

[子ども・子育て関係]
①相談内容を正確に把握し、より質の高い相談対応ができるよう、AI活用型相談支援サービス「AI相談パートナー」を導入し、昨年11月から本格的な活用が開始されました。
②放課後子ども総合プラン事業の充実などを目的に、令和5年2月に「一般財団法人ながのこども財団」が設立され、令和6年4月からの事業運営に向け、組織体制の整備や職員確保などの準備が始まりました。

▲児童センターの子ども達の様子

[環境関係]
「長野市温暖化対策推進補助金」が創設され、次世代自動車である電気自動車（EV）のほか、停電時の対応力の強化につながる家庭用蓄電池や電気自動車から家庭に電気を供給できる電気自動車等充給電設備（V2H）など、再生可能エネルギー由来の電力を効率的に利用するためのインフラ整備が促進されました。

建設企業部会

後列左より
本木　晋　　寺沢　さゆり　　和田　一成
前列左より
若林　祥　　加藤　英夫

● 令和6年度予算要望の主な内容

[建設関係]
①空き家対策については、適切に管理されていない老朽危険空き家等への対応や空き家の適正管理、利活用及び空き家化の予防など、長野市空家等対策計画に位置付けられた施策を総合的かつ着実に進めること。
②「長野市マンション管理適正化推進計画」に基づき、今後見込まれている高経年マンションの急増と居住者の高齢化などの実情を踏まえ、管理組合の自立的運営による適正なマンション管理を促進すること。

[都市整備関係]
①ながのこども館は、親子が天候に左右されずに遊ぶことができる市内唯一の施設となることから、既存の科学展示物の利活用も考慮し、早期の供用に向けて整備を進めること。
②丹波島橋周辺の渋滞対策については、県と共に立ち上げた研究会を中心に、現在、実施しているハード対策とともに、ソフト対策も重ねて検討し、積極的に進めること。

[水道･下水道関係]
①上田長野地域の将来の人口減少を見据え、水道事業の広域化について市民の意見や関係市町の議会間の研究、協議の内容を踏まえて具体的に検討を進めること。
②下水道マンホール蓋の広告利用のルール作りを進め、公共広告や企業広告、観光PRなどの活用に努めること。

● 令和5年度予算要望で実現した主な事項

[建設関係]
①市街地･住宅地における道路後退用地を取得して拡幅整備を実施し、狭あい道路の解消が図られました。
②都市型水害への対応として、北八幡雨水調整池の掘下げ工事を継続するとともに、柳原、豊野地区において公共施設への雨水貯留施設設置事業等が着手されています。

▲道路後退用地を取得し、拡幅整備を実施した市道

[都市整備関係]
①都市内の円滑な道路交通と歩行者の安全な歩行空間を確保するため、川中島幹線、山王小柴見線、七瀬居町線の事業が進められています。
②城山公園では、ながのこども館の令和6年夏の開館に向けて、整備が進められています。また、整備中の上高田南向塚公園は、令和6年春に完成する予定です。

[水道･下水道関係]
①水道事業では、地震などの自然災害に強い水道を整備し、水の安定供給を図るため、老朽化した管路等の計画的な更新工事が各地で実施されています。
②下水道事業では、下水道管の老朽化による道路陥没事故等を未然に防止するため、老朽管の改築更新を計画的に進められ、現在、末広･西部処理分区の管更生工事が進められています。

▲老朽管更新工事の様子